

千歳市の特性

- 01 居住年数5年未満の就学前の子育て世帯が約35%いる  
表：就学前の子育て世帯の市内居住年数
- |     |      |      |      |      |      |
|-----|------|------|------|------|------|
| 0%  | 20%  | 40%  | 60%  | 80%  | 100% |
| 4.5 | 30.3 | 23.8 | 15.9 | 24.6 | 0.9  |
- …1年未満 □…1年以上5年未満 ■…5年以上10年未満  
■…10年以上20年未満 ■…20年以上 □…無回答
- 02 市内にはこれまでなかった「認定こども園」を求める声が25.7%ある  
※認定こども園とは、幼稚園で行う幼児教育と保育所の保育機能を併せ持ち、また、地域の子育て支援を行う施設です。
- 03 子育てが「楽しい」と感じる一方で、6割以上の保護者が「不安や負担」と感じている
- 04 「子育てコンシェルジュ（子育て支援サービスなどを案内する人）」を求める声が多い
- 05 転入者に対する訪問活動などの支援を求める意見がある

市が、計画策定までに実施した会議など

平成25年度

- 千歳市子ども・子育て会議（全3回）
- 千歳市子ども・子育て支援アンケート調査
- こども療育課の事業を利用している子どもの保護者に対するアンケート調査

平成26年度

- 千歳市子ども・子育て会議（全5回）
- 企業における仕事と家庭の両立支援に関するアンケート調査
- 子ども・子育て支援事業計画のための意見交換会（全2回）
- 認定こども園や保育所などの利用者説明会
- 計画策定のためのパブリックコメント実施手続きによる意見公募
- 子ども・子育て支援新制度市民説明会（全5回）
- 子ども・子育て支援新制度の出前講座の開設
- 千歳市子育て支援講演会

委員の皆さんの思いに胸を熱くします。

大学を通じ、広く教育や保育の現場に関わる立場から、千歳市子ども・子育て会議の会長を務めさせていただいています。

会議では、委員の皆さんが語る、子どもたちの姿、子育て中の保護者の思い、それに寄り添うスタッフの思いに胸を熱くすることがしばしばあります。私は、千歳市民ではありませんが、市の担当者の熱意も感じられ、会議を重ねるたびに千歳市が大好きになっていきます。

「子どもは未来」です。千歳市の未来（子どもたち）が輝くように祈りながら、今後も議論を続けてまいりたいと思っています。



千歳市子ども・子育て会議 会長  
藤女子大学准教授  
あずた ふじこ さん

千歳市の特性

市は、計画策定にあたり、平成25年10月に、「千歳市子ども・子育て支援アンケート調査」を実施し、子育ての現状や幼稚園、保育所などの教育・保育施設や子育て支援サービスに関する利用意向などを把握しました。（アンケートの回収率は49.1%）。

また、障がいのある子どもへの保護者に対するアンケート調査を平成26年3月に、地域での意見交換会を同年8月に2会場で開催するなど、たくさんの方のニーズ（要望）の把握に努めました。（左記に掲げる「千歳市の特性」のとおり）

千歳市子ども・子育て会議

計画策定にあたっては、市民ニーズを踏まえて作成する必要があるので、市は、平成25年6月「千歳市子ども・子育て会議」を設置しました。会議は、学識経験者や私立保育所、幼稚園の代表の方、事業所、一般公募による子どもの保護者（3人）など16人の委員で構成しています。これまで8回の会議を開催し、計画策定に向けた審議が行われました。

第1期千歳市子ども・子育て支援事業計画  
子育て世代に選ばれ、まちをめぐって

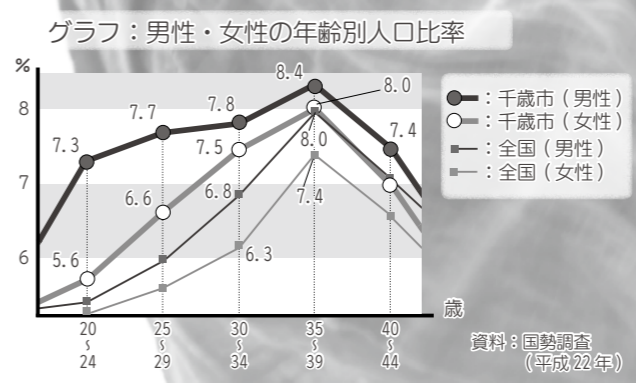
SPECIAL SECTION



国は、少子化などの子どもを取り巻く環境の変化を背景に、消費税増収の財源投入により、地域主体で子ども・子育て環境の充実に目指す新制度を4月から発足させました。現在、市は、「子育てするなら、千歳市」を合言葉に、新制度に対応した、オリジナルにふれる施策を展開しています。今月の特集では、今後の子育て支援の方向性を示す「第1期千歳市子ども・子育て支援事業計画（平成27年3月策定）」のあらましをお伝えします。

子ども・子育てを取り巻く千歳市の現状

道内で最も若いまちである千歳市は、平均年齢が男性で39.9歳、女性で42.8歳です。20～40歳前半までの人口比率は、全国水準と比べても、高い水準にあります（グラフ参照）。また、一人の女性が一生の間を生む子どもの平均人数を示す「合計特殊出生率」についても、全国水準より高い1.46となっており（表を参照）、子どもと子育て家庭に恵まれたまちであることが分かります。



表：合計特殊出生率の比較（平成24年）

地域	千歳市	北海道	全国
出生率	1.46	1.26	1.41

資料：人口動態統計、市資料から算出





## ～ 20 の主要施策 ～

- No.1 放課後に児童が利用する「学童クラブ」の対象学年を6年生まで拡大し、定員を300人増員
- No.2 ランドセルを背負ったまま児童館に来館できる「ランドセル来館」を全児童館で実施（利用は無料）
- No.3 全児童館で、中高生の専用時間「**中高生タイム**」（17:30～18:30）を設定し、中高生の居場所づくりを支援
- No.4 子育て支援センターや認定こども園、児童館、こども通園センターの公立子育て施設から**ブログで情報を発信**
- No.5 親子同士や子育てサークルに加入する方が子育て支援センターや児童館でお弁当を食べながら交流する「**ランチデー・ランチタイム**」の導入
- No.6 赤ちゃんから高校生までが楽しめる子育て環境として**子育て支援中核施設を拡充**
- No.7 幅広い年代の市民や団体、子育て関係機関が参加する全児童館共同の「**児童館まつり**」を開催（隔年）
- No.8 認定こども園や保育所などで就労を希望する方を対象に「**保育士等人材バンク**」を開設（平成26年12月開設）し、就労を支援
- No.9 子育て関連情報のガイドブック&おでかけMAPを作成し、「子育てママのおすすめスポット」などの情報を提供
- No.10 幼保連携型認定こども園の普及促進
- No.11 **地域子育て支援センター**を3か所から**10か所に拡大**
- No.12 ちとせっこ・げんきっこセンターに、子育て相談や情報提供などを行う「**子育てコンシェルジュ**」の配置
- No.13 子育てコンシェルジュが、転入後間もない子育て家庭や子育てに不安を感じる家庭を訪問する「**ホームスタート**」を実施
- No.14 専門員が保育所や幼稚園などを巡回し、発達障がいのある子を早期に発見し対応する「**インクルージョン保育**」を実施
- No.15 ちとせっこ・げんきっこセンターを月1回、休日に開館
- No.16 転入してきた子育て中の保護者と子どもを対象に、親子同士が知り合うきっかけのための「**転入親子ウェルカム交流ツアー**」を開催
- No.17 11月3日に、妊産婦や子育て中の方が楽しむことができるイベント「**いいお産の日 in ちとせ**」を開催
- No.18 認定こども園や保育所などの保育料を市が独自に軽減
- No.19 **特定不妊治療**（体外受精）への助成を実施
- No.20 怒鳴ったり、叩いたりせずに子育てできる学習プログラム「**コモンセンス・ペアレンティング**」を、一般家庭向けの子育てスキルアップ講座として開催



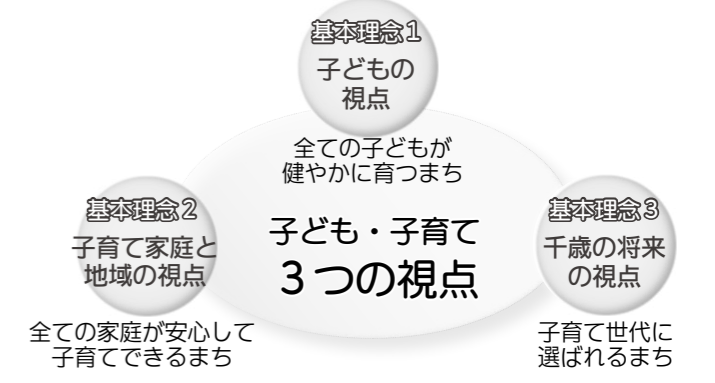
また、市は、平成26年度から「子育てするなら、千歳市」をキャッチフレーズに掲げ、政策的な取り組みとして事業を展開することとしており、個別施策の中でも、優先度の高い施策や先進性の高い独自事業を「主要施策」に位置づけ、積極的に推進します。

## 計画の基本的な考え方

計画では、「子ども」、子どもを取り巻く環境としての「子育て家庭と地域」、千歳の将来」の3つの視点に基づき基本理念を掲げ、8つの基本目標の達成をめざす137の個別施策を掲載しました。

計画には、教育・保育施設（保育所や認定こども園など）や国が推進する各種子育て支援サービスに関する見込み量と提供体制の確保の方策などを掲載しています。

### 子ども子育てビジョン（基本理念）



## 計画の体系図



## 子育てしやすいまちだと実感しています！

子育てサークル「新顔さんいらっしゃい」代表  
むなかた かすみ 宗像 香澄さん・長男の元信くん（1歳）

長男が生まれて間もない昨年4月、千歳に転入してきました。親族、知人のいない見知らぬ土地で、不安な中で子育てをしていましたが、8月にこの計画のための地域意見交換会に参加したときに、発言を受け止めていただいたことで「私にも何かできる」と明るい気持ちになりました。このことをきっかけに「新顔さんいらっしゃい」という子育てサークルを立ち上げ、今では自分の子育てと、40組の親子が集うサークル活動に全力を注いでます。

今回の計画は、私たちのような転入者や、子育てに不安を抱える保護者に向けた取り組みが多く、千歳は子育てしやすいまちだと実感しています。子育てコンシェルジュやホームスタートなどは、とてもハードルの高い取り組みだと思いますが、子育て中の皆さんが前向きに明るくなれるものだと期待しています。

### 「千歳市子育てガイド&おでかけMAP」を発行しました

新しいガイドブックは、地図情報を大幅に拡大し、「子育て特典カードの協賛店舗」やオムツ換え、授乳ができる「子育てにやさしい施設」の他、「お気に入りのスイーツ専門店やベビーグッズのお店」などを子育て中の保護者に聞き取りした「子育てママのおすすめスポット」を掲載しています。お出かけなどにご活用ください。



ちとせっこ・げんきっこセンターの他、市役所の子育て推進課などで配布しています。

## 「子育て世代に選ばれるまち」をめざして

急速な少子化の進行や保育所待機児童問題などを受け、4月から「子ども・子育て支援新制度」が始まりました。市は、財源を確保しながら、子育てに関する取り組みを効果的・計画的に進めていきます。「千歳市子ども・子育て支援事業計画」は、第1期目の計画として、将来の千歳を担う子どもを育む礎となるものです。

誰もが子どもを産み、育てたいという希望をかなえる社会を築くことは、定住促進や少子化の歯止めを目指す政策の一端を担うものです。「子育て世代に選ばれるまち」の実現に向け、市民の皆さんや関係機関の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ  
子育て推進課  
子育て計画係  
☎(24) 0341

※計画書は、市のホームページでご覧いただけます。